

投資家／お取引先への取り組み

投資家に対する基本的な考え方

私たちは、適時・適切な情報開示による投資家の皆様からの信頼をベースに、経営環境の変化に対応した事業展開によって企業価値増大をめざし、誠実な企業行動を推進します。

投資家に対する取り組みの一例

情報開示

東武鉄道では、投資家、株主をはじめ、社会に対し、経営の透明性を確保するため、経営成績、事業状況などを積極的に開示する旨等をIR指針において定め、ホームページに掲載しています。

東武鉄道ホームページにおいても、適時開示資料やニュースリリース等の情報開示に努めています。

アナリスト・機関投資家向け定期説明会の開催

年2回（年度決算および第2四半期決算後）、取締役社長が説明者となり、決算、東武グループ各セグメント別の施策および「東武グループ中期経営計画」の進捗状況等を説明しています。

また年1回、東武鉄道およびグループ会社の施設見学会を実施しています。

株主還元の一層の充実

株主還元については、安定配当を継続することを基本方針とし、業績と経営環境を勘案しながら、中期経営計画期間平均で総還元性向30%を目安として、株主還元の一層の充実に向けて柔軟に対応していきます。

なお、資本効率の向上および柔軟な資本政策の遂行を目

的として、2017年11月1日から2018年2月28日に、取得株式総数400万株、取得価額総額100億円を上限とした自己株式の取得を実施しています。

株主様向け施設見学会の開催

東武鉄道では、2014年度から年1回、株主様に当社事業内容へのご理解を一層深めていただくため、「株主様向け施設見学会」を開催しています。

2016年度においては、2017年3月11日、12日の各日、鉄道乗務員養成所にて「株主様向け施設見学会」を開催しました。

募集人数を超える多数の株主様からご応募をいただき、厳正な抽選により当選された89名の株主様および同伴者様にご参加いただきました。

今後も東武鉄道では、さまざまな株主様向け見学会等の開催を検討していきます。



学科教室の見学

お取引先との関係

基本理念

私たちは、お取引先と相互に信頼関係を築くため、法令および健全な商慣習に従い、公平・公正かつ透明な選定・取引を行うとともに、お取引先の選定・取引状況について継続的な評価を実施します。

また、お取引先との安定した関係を築くため、優越的な地位を濫用した不当な要求、過剰な接待・贈答を受けたり、行ったりしません。

グリーン購入ガイドライン

東武鉄道の環境面においては、グリーン購入ガイドラインを制定し適正な取引を行っています。

東武鉄道グリーン購入ガイドラインは <http://www.tobu.co.jp/csr/greenpurchase/> を参照してください。

東武鉄道グリーン購入ガイドライン

東武鉄道グリーン購入ガイドラインを以下のとおり定める。

1 目的

製品等を購入する際に、環境に与える負荷ができるだけ小さいものを優先する「グリーン購入」に努めることにより、東武鉄道の環境保全活動の推進を図ることを目的とする。

2 基本的な考え方

- (1) 必要性を十分考慮のうえ購入する。
- (2) 環境に与える負荷ができるだけ小さい製品を優先的に購入する。
法律、条例等がある場合はそれにしたがって、関係する基準がない場合は、環境に与える負荷が小さい商品を購入するとともに、